

2010年4月23日

PASMO や Suica など IC カード乗車券等を活用した子ども見守りサービス
“キッズセキュリティ”の利用者総数が20,000人を突破！

東急セキュリティ株式会社

東急セキュリティ株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:波戸 覺)は、PASMO や Suica などの IC カード乗車券を利用した子ども見守りサービス「キッズセキュリティ」を提供しておりますが、2010年4月20日時点にて本サービスの利用者総数が20,000人を突破いたしました。また、東急線の駅自動改札機の通過情報をメール配信する「エキッズ」利用者数も5,000人を突破いたしました。

「キッズセキュリティ」は、お子様が持つ IC カード乗車券を利用し、東急線の駅自動改札機や学校・塾・マンション・自宅等のキッズセキュリティカードリーダー設置場所を通過した際に、保護者の携帯電話へ通過情報をメールで配信するサービスです。子どもの行動導線上にある自動改札機やカードリーダーをタッチするだけで、リアルタイムで保護者に通過情報がメール配信され、子どもや保護者は特別な操作負担なしに安心を実感できます。また、駅・塾・学校・自宅等の複数の通過スポットの配信情報を受信することで、子どもの行動を一点だけでなく、行動範囲全体を見守ることができます。

施設向けの「キッズセキュリティ」は2007年4月にサービスを開始して以来、日能研の首都圏エリア全87教室や河合塾24教室、國學院久我山中学高等学校(東京都杉並区)など多数の学校・塾でご採用いただいております。

「エキッズ」は2007年12月からサービスを開始以来、保護者様からは“駅改札の入場と出場の時刻を見ると無事に通学していることを確認できる”“自動的にメールが入り安心して落ち着いて仕事ができる”“学校の規則で子どもに携帯電話の持ち込みを禁止されていても帰宅時間の目安がわかる”など多数の安心の声をいただいております。

「エキッズ」利用中のお子様を通う学校数は小学校270校、中学校167校、高等学校・その他学校55校(いずれも2010年3月時点)にのぼり、利用者数は5,000人を越えました。

慶應義塾普通部(横浜市港北区)を始めとした東急線沿線の小・中学校からは、“携帯電話持ち込み禁止をしている中、通学経路における安全確認をする手段としてエキッズが利用できる”点を評価いただき、学校側で積極的にエキッズ団体申し込みを行っていることも、利用者数の増加につながっております。

また、2010年4月からはメール受信者2人目以降の利用料金を変更したことが好評で、ご両親でお子様の行動を見守る例が増えております。

なお「キッズセキュリティ」は、昨年「子どもの通過情報を IC カード乗車券という身近なツールを使って確認できる」という社会提案性、新規性「使う側が意識をせずにできること、見守る側はイレギュラーな場合に危険を察知できる」点が評価され、警備会社及び鉄道系企業の商品としては初となるキッズデザイン賞金賞(社会システムデザイン賞)経済産業大臣賞を受賞しております。

「キッズセキュリティ」の主なサービスラインアップは以下のとおりです。

①エキップ

東急線の駅自動改札機(PASMOのみ対応)



②キッズセキュリティ

学校・塾・スポーツクラブ等に設置された専用リーダー



③キッズセキュリティ・ホーム

戸建住宅のホームセキュリティ端末



④キッズセキュリティ・マンション

マンションのエントランス



東急セキュリティは、今後とも子どもの安全・安心への取り組みを深め、お客様に安心いただける鉄道系警備会社ならではのサービスを提供して参ります。

※ PASMO は株式会社パスモの登録商標です。

※ 株式会社パスモ商標利用許諾済第6号



※ PASMO マーク **PASMO** 及び **PASMO** は株式会社パスモが本商品・サービスの内容・品質を保証するものではありません。

※ 株式会社パスモの都合により予告なくPASMO カードが交換されることがあります。

※ JR 東日本 Suica 利用承認第40号

※ Suica は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※ 当該承認は、東日本旅客鉄道株式会社が本商品・サービスの内容・品質を保証するものではありません。

※ 東日本旅客鉄道株式会社の都合により、予告なくSuica カードが交換されることがあります。